

## 安全・安心の街づくり分野への質問

	意見	区の考え方
1	安全安心の街づくり分野にも防災の話があり、それとは別に防災・防犯分野があるため、重複しており資料が整理されていない印象である。まず、都市づくりでは都市構造や土地利用、次に交通環境、安全安心となる。安全安心では防災、防犯危機管理でまとめるのが一般的なため、このタイトルに違和感がある。安全で快適に住み続けられる街づくりという表現であれば都市づくり全体の理念を表すと思うが、安全・安心というタイトルにしてしまうと、防災に偏ってしまう。タイトルや内容の整理が必要ではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
2	全体に記載が細かすぎるのではないか。長期計画は理念的なものをうたうものである。手段や具体的な施策については、基本計画に委ねる方が良い。例えば、拠点整備というキーワードが出てくるが、なぜそれが必要なのかという考え方を書くべきで、表現をより工夫すべきだ。居住環境においてもいきなり空き家が出てくるが、これも手段であるのもっと望ましい表現があると思う。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
3	新たな政策課題には、「区営住宅等ハード面の拡充が困難の中で」と記載があるが、公営住宅など公的な住宅をハード面から保証していくのは今後も大きな課題であるため、課題解決の方向性にも記述が必要ではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
4	新たな政策課題として「住宅確保要支援者に対する家賃助成などソフト面での対策」や「民間共同住宅が管理不全に陥らないための支援」が挙げられているのに、課題解決の方向性にはその点での記載がないが、どう考えているのか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
5	課題解決の方向性の10年後には、「既存の住宅ストックの資産としての活用」について記載があるが、現状でも高齢者の住宅確保が困難なため、10年後ではなく5年後に早めるべきではないか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
6	新たな政策課題と解決の方向性の中で「都市型水害」との記載があるが、昨今の気象状況を考えると、風害の視点も入れるべきではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。

	意見	区の考え方
7	自由が丘周辺なども含め、地球温暖化による風水害を懸念している。特に目黒区は、樹木が多いのは素晴らしいと思っているが倒木が心配である。水害だけではなく風害に対する対策も必要ではないか。	樹木の風害対策についてですが、先日の台風では目黒区内の公共施設内で90本の倒木がありました。そのうち、保存樹木の倒木は1本でした。適正な管理は必要であると考えていますが、阪神淡路大震災では公園の樹木が延焼被害をとどめたり、家屋の倒壊を樹木が支えたりという例もあるため、それぞれの樹木に応じた適正な管理を行っていきます。
8	防災まちづくりについてだが、5年後に区内の耐震化率を95%以上としているが、これも可能な限り早める必要があるだろう。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
9	モノがなければ安全は確保できないことを災害の度に痛感しているが、5年後、10年後のところでは反映されていない。前回の再掲でもよいが、住民による支え合いのような面が明確になっておらず、それがなければ安全・安心や防災はできない。その辺りの表現や見せ方を工夫してほしい。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
10	空き家対策の計画の中では、ソフト面についても書き込んでいただいたので、学ぶことの多いこれからの方向性が出たと思う。一方で、資料の「新たな政策課題」では、拠点整備の中に「地域コミュニティなどのソフト面」という記載があるが、抽象的な言葉となっており曖昧ではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
11	近年の社会状況の変化の中でPark-PFIについての記載があり、新たな政策課題や課題解決の方向性でも目指すところとしている。現状に不備があつてより良い方向に進むためにそちらを目指すのであれば理解できるが、現状の評価がわからない中で、10年後まで新制度を押し進めると言い切つてよいのか。現状をどう分析しているのか。	民間活力を活用して区の公園を活性化していきたいというのが狙いで、どういった形で活用するのか決定しているわけではありません。Park-PFIに限定はしておらず、その他の手法も検討して進めていきたいと考えています。
12	新たな政策課題で公園整備に取り組むとあるが、目黒区は住宅が密集しているため、これから公園を整備するのは困難だろう。例えば、目黒区に限らず、品川区の公園を使わせてもらい、品川と合同で公園を整備していくなど、10年後を見据え思い切つた施策を検討してはどうか。	近隣自治体との共同設置は、費用負担や権限の問題などがあり、現時点では難しいと考えますが、今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見も参考にさせていただきます。
13	今後、空き家の増加が見込まれるのでそれを買い上げて公園にしてはどうか。26号線が来年3月に開通予定だが、その道路沿いに樹木を植えてみどりを増やしてはどうか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
14	公園が園庭のない保育園の子ども遊び場になっている。大きな公園が一つあるより、小さな公園がたくさんある方が園児など子どもの安全には良いと思う。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

	意見	区の考え方
15	学校の統合など、区の施設を整理、統合していく際に公園を整備していくことを検討してはどうか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
16	公園整備について、民間活力活用も含めて検討しているとのことだが、PFIの検討は急ぐべきではないか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
17	駒場公園付近に住んでいるが、巨木や防虫対策など問題が多く、時間軸を速めていく必要があると思う。公園の面積を一時に広げることにはできないと思うが、質の向上はできるのではないか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
18	大きな公園には水道もトイレも完備されているが、小さな街角公園には両方とも整備されていない。小さくても公園とよぶなら、水道やトイレを整備してほしいし、そういったものがないと利用率が下がってしまうのではないか。	公園、児童遊園等には必ず水場を整備するようにしていますが、トイレについては、公園等の面積や周辺の状況により、整備していないところもあります。具体的な場所を教えていただければと思います。
19	公園は緑が多いため、当然死角だらけである。事故の起こりやすい公園周り、公園内のトイレの周りなど抑止力として監視カメラを設置してはどうか。千代田区、世田谷区など児童公園では全面的に喫煙が禁止されている。しかし、目黒区はいまだに路上を含めて喫煙者がいる。ポイ捨ても多いので積極的な行政指導が必要である。	公園の防犯カメラについては、実施計画に位置付け毎年5公園に設置しています。今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
20	都市計画マスタープランにある目黒の将来都市像だが、少子化で子どもが減少傾向にある中、「子どもの元気がみえるまち」というのが、目黒全体を指す都市像なのかと思う。もっと広いところを捉える考えはあるのか。	現在の都市計画マスタープランは平成16年に策定したものであり、当時の少子高齢化の傾向を踏まえ、20年後は子どもが増えているようにとの考えもあつたため、そのような都市像を設定しました。現時点では、区内の年少人口は増加傾向にあり、保育園も140ほどあります。なお、都市計画マスタープランについては、見直しも検討しているところです。
21	大きな庭を持つ屋敷が減少し、マンションなどに建て替えられる中で、今後戸建ての建築確認等の際に、植樹を強く進めてはどうか。まちぐるみ、行政と区民とで連携していくことが必要ではないか。そうでなければ、今後緑地面積はますます減少していきだろう。	区には「みどりの条例」があり、建築物の建築確認前に緑化計画を作って協議するという制度があります。それにより一定規模の新築の建物は道路沿いを中心に植樹がされています。建築主が自主的に行っているものもありますが、みどりの条例で道路沿いや敷地には木を植えるという制度を作っているため、そこで指導しています。
22	ごみ集積所にごみが増え山積みになっていることによって、治安面にも不安が広がる。行政が本気を出して、ごみ袋の上に網を掛けるのではなく、箱にするなどごみ問題を解決することによって安全・安心なまちづくりを行うと大々的にアプローチしたほうが区民にもわかりやすい。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

意見		区の方考え方
23	街の清掃などに積極的に参加してくれるのは高齢者で、なぜ若年層が参加しないのか。それは声が反映されない、参加しても自己アピールにならない、そもそも帰って寝るだけの空間であるなどの理由が考えられる。SNSで実施したことを参加者が投稿できる仕組みをつくるなど、PRができるような試みをしてはどうか。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
24	SDGsに関連し、持続可能な開発目標を目黒区内で整備し、提言することが必要。幼稚園、保育園、小中学校など学びの場所へ積極的に浸透させることによって、子どもたちにも安全で安心できる未来へ続く目黒区を創造してもらおうきっかけ作りをするべきである。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。